



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 林兼産業株式会社

コード番号 2286 URL <http://www.hayashikane.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 熊山 忠和

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 総務部長

(氏名) 小野 康之

TEL 083-266-0210

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	23,055	△2.8	573	△2.2	582	4.7	444	43.7
28年3月期第2四半期	23,714	3.4	586	—	556	—	309	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 821百万円 (101.0%) 28年3月期第2四半期 408百万円 (322.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	49.89	—
28年3月期第2四半期	34.71	—

※当社は、平成28年10月1日付で株式併合(普通株式10株を1株に併合)を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	28,478	—	6,247	—	—	19.5
28年3月期	26,906	—	5,414	—	—	17.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 5,549百万円 28年3月期 4,769百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,500	0.5	830	1.3	740	4.7	600	56.2	67.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成28年10月1日付で株式併合(普通株式10株を1株に併合)を実施したため、平成29年3月期(通期)の1株当たり当期純利益については当連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結結算期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	8,910,000 株	28年3月期	8,910,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	6,766 株	28年3月期	6,607 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	8,903,293 株	28年3月期2Q	8,903,541 株

※当社は、平成28年10月1日付で株式併合(普通株式10株を1株に併合)を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の通期連結業績予想について)

当社は、平成28年6月27日開催の第77期定時株主総会決議に基づき、平成28年10月1日付で当社普通株式10株を1株にする株式併合を実施しております。これに伴い、当連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
(4) 追加情報	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が続く緩やかな回復基調にありましたが、中国経済の減速を背景に輸出が伸び悩むなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。食品業界におきましては、景気の先行き不透明感から個人消費が低調に推移するなど、メーカー各社は厳しい経営環境に置かれました。

このような状況のなか、当社グループは本年4月からの2ヵ年を「強化」の期間とし、「人財育成」および「基盤整備」を基本方針とする「第三次中期経営計画」（平成29年3月期～平成30年3月期）を策定し、スタートさせました。この新たな経営計画のもと、これまでに取り組んできた経営資源の選択と集中、売上拡大戦略をベースに、安定的な利益確保に向けて構造強化を図り、持続的な事業発展を目指しております。

「人財育成」については、課題解決による能力向上をテーマに、新人事評価制度の構築やOJT、QC活動等、あらゆる手段を活用して個々の能力開発や技術レベルの向上を図っており、「基盤整備」については、前計画の基本方針である「売上最大」「品質最高」「経費最小」に継続して取り組み、一層の強化に努めております。また、今後拡大すべき部門の組織強化を行い将来に向けた体制整備に努めるなか、当社は人員増強による営業拠点拡充のため、本年4月に大阪支社を開設いたしました。大消費地である関西地区を中心に、営業活動の強化および売上の拡大を図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、養魚用飼料や肉類の売上減少などにより230億55百万円（前年同期比2.8%減少）となりました。損益面におきましては、営業利益は5億73百万円（前年同期比2.2%減少）となったものの、営業外損益の改善により経常利益は5億82百万円（前年同期比4.7%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億44百万円（前年同期比43.7%増加）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、次のとおりです。

#### ①水産食品事業

魚肉ねり製品におきましては、市場の縮小傾向を背景に国内生産量が減少するなか、海外への輸出量が増加したものの、魚肉ソーセージの主力取引先への販売数量が減少したことにより、減収となりました。

機能性食品におきましては、機能性食品素材カツオエラスチンや高齢者向けソフト食「ソフミート」の拡販に努め、新規取引が増加したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は20億61百万円（前年同期比3.3%増加）、セグメント損失（営業損失）は16百万円（前年同期は36百万円の損失）となりました。

#### ②畜産食品事業

ハム・ソーセージ等食肉加工品におきましては、食肉加工品の国内生産量が前年並に推移するなか、ロースハムやベーコンなどのOEM（相手先ブランド供給）製品の販売数量が減少したことにより、減収となりました。

肉類におきましては、鶏肉の販売数量減少や豚肉の販売単価下落により、減収となりました。

調理食品におきましては、大手量販店向けPB（プライベートブランド）製品の受注を開始したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は96億33百万円（前年同期比4.0%減少）、セグメント利益（営業利益）は2億23百万円（前年同期比12.1%減少）となりました。

### ③飼料事業

養魚用飼料におきましては、国内生産量が前年を上回るなか、円高による輸出量の減少などがあり、減収となりました。

水産物におきましては、鰻の取り扱い量増加やブリの拡販に努めたことなどにより、増収となりました。

畜産用飼料におきましては、原材料価格の低下を受けて値下げを行ったことにより、減収となりました。

これらにより、売上高は100億5百万円(前年同期比5.2%減少)となりました。損益面においては、生産性向上に努めたことなどによりセグメント利益(営業利益)は8億円(前年同期比9.1%増加)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債、純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は284億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億71百万円の増加となりました。

流動資産の増加(前連結会計年度末比3億79百万円増加)は、主に受取手形及び売掛金が10億48百万円増加したことなどによるものです。

固定資産の増加(前連結会計年度末比11億92百万円増加)は、主に投資有価証券が5億41百万円、破産更生債権等が6億72百万円増加したことなどによるものです。

#### (負債および純資産)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は222億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億38百万円の増加となりました。

流動負債の増加(前連結会計年度末比3億80百万円増加)は、主に買掛金が4億38百万円増加したことなどによるものです。

固定負債の増加(前連結会計年度末比3億58百万円増加)は、主に長期借入金が2億46百万円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は62億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億33百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益4億44百万円を計上したことや、その他有価証券評価差額金が3億17百万円増加したことなどによるものです。この結果、自己資本比率は19.5%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローは増加したものの、投資活動によるキャッシュ・フロー、財務活動によるキャッシュ・フローの減少により、前連結会計年度末に比べ1億54百万円減少の12億61百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は3億48百万円(前年同期は4億52百万円の減少)となりました。これは主に売上債権の増加が17億26百万円あったものの、仕入債務の増加が5億90百万円、税金等調整前四半期純利益の計上が5億65百万円、たな卸資産の減少が5億7百万円、減価償却費の計上が3億61百万円あったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は1億94百万円(前年同期は3億8百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が1億58百万円あったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は3億7百万円(前年同期は9億38百万円の増加)となりました。これは主に長期借入れによる収入が10億8百万円あったものの、短期借入金の純減少額が2億70百万円、長期借入金の返済による支出が9億44百万円あったことなどによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内景気の緩やかな回復が期待される一方で、中国を始めとするアジア新興国経済の減速等による下振れリスクが懸念されます。

こうしたなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は損益面において当初予想を上回ったものの、今後の販売環境が不透明であることから、通期の連結業績予想については当初予想を据え置くことといたしました。

なお、今後経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,795,490	1,566,387
受取手形及び売掛金	4,245,481	5,293,503
商品及び製品	1,837,751	1,808,923
仕掛品	2,194,745	2,013,539
原材料及び貯蔵品	1,893,174	1,596,023
その他	190,545	261,980
貸倒引当金	△48,132	△52,208
流動資産合計	12,109,057	12,488,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,583,627	3,560,075
土地	4,198,093	4,198,093
その他(純額)	1,993,429	2,021,848
有形固定資産合計	9,775,150	9,780,017
無形固定資産		
	36,046	30,497
投資その他の資産		
投資有価証券	3,235,743	3,776,838
破産更生債権等	2,898,643	3,571,090
その他	311,922	295,374
貸倒引当金	△1,460,187	△1,463,758
投資その他の資産合計	4,986,121	6,179,545
固定資産合計	14,797,318	15,990,059
資産合計	26,906,375	28,478,211
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,432,764	2,871,270
短期借入金	10,086,484	9,558,502
未払法人税等	102,603	110,616
賞与引当金	223,350	275,408
その他	1,658,938	2,068,634
流動負債合計	14,504,141	14,884,431
固定負債		
長期借入金	3,666,905	3,913,499
退職給付に係る負債	2,028,145	1,956,524
資産除去債務	55,930	50,000
その他	1,236,702	1,425,839
固定負債合計	6,987,684	7,345,863
負債合計	21,491,826	22,230,295

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,415,020	3,415,020
資本剰余金	5,989	8,971
利益剰余金	868,749	1,312,894
自己株式	△6,823	△6,974
株主資本合計	4,282,935	4,729,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	574,527	891,953
繰延ヘッジ損益	—	△361
為替換算調整勘定	6,675	13,578
退職給付に係る調整累計額	△94,640	△85,248
その他の包括利益累計額合計	486,562	819,921
非支配株主持分	645,051	698,083
純資産合計	5,414,549	6,247,916
負債純資産合計	26,906,375	28,478,211



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	23,714,158	23,055,433
売上原価	20,104,099	19,473,840
売上総利益	3,610,058	3,581,593
販売費及び一般管理費	3,023,404	3,007,875
営業利益	586,654	573,717
営業外収益		
受取配当金	43,685	47,520
その他	94,989	107,133
営業外収益合計	138,675	154,653
営業外費用		
支払利息	140,684	122,846
その他	27,976	22,550
営業外費用合計	168,660	145,397
経常利益	556,668	582,974
特別利益		
固定資産売却益	114	83
投資有価証券売却益	22,308	—
特別利益合計	22,422	83
特別損失		
固定資産売却損	3,194	14,102
固定資産廃棄損	37,421	3,793
貸倒引当金繰入額	110,036	—
特別損失合計	150,652	17,896
税金等調整前四半期純利益	428,439	565,161
法人税、住民税及び事業税	109,934	99,508
法人税等調整額	△25,038	1,049
法人税等合計	84,896	100,557
四半期純利益	343,543	464,603
非支配株主に帰属する四半期純利益	34,531	20,459
親会社株主に帰属する四半期純利益	309,012	444,144

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	343,543	464,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,636	340,629
繰延ヘッジ損益	—	△361
退職給付に係る調整額	11,270	9,392
持分法適用会社に対する持分相当額	6,159	6,882
その他の包括利益合計	65,065	356,542
四半期包括利益	408,608	821,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	373,292	777,503
非支配株主に係る四半期包括利益	35,316	43,642

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	428,439	565,161
減価償却費	381,068	361,684
持分法による投資損益(△は益)	△15,235	△12,122
有形固定資産売却損益(△は益)	3,080	14,018
有形固定資産廃棄損	37,421	3,793
貸倒引当金の増減額(△は減少)	111,442	7,646
賞与引当金の増減額(△は減少)	107,204	52,057
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△40,968	△62,229
受取利息及び受取配当金	△46,520	△50,197
支払利息	140,684	122,846
売上債権の増減額(△は増加)	△2,071,916	△1,726,321
たな卸資産の増減額(△は増加)	△327,244	507,184
仕入債務の増減額(△は減少)	1,037,879	590,185
未収消費税等の増減額(△は増加)	△1,094	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	△42,162	131,588
その他	△14,236	11,883
小計	△312,157	517,181
利息及び配当金の受取額	47,299	53,241
利息の支払額	△141,177	△122,887
法人税等の支払額	△46,921	△98,709
営業活動によるキャッシュ・フロー	△452,957	348,826
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△40,406	△1
定期預金の払戻による収入	5,005	—
有形固定資産の取得による支出	△316,715	△158,583
有形固定資産の売却による収入	31,256	9,169
無形固定資産の取得による支出	△900	—
投資有価証券の取得による支出	△2,236	△24,392
投資有価証券の売却による収入	35,390	28
その他	△20,371	△21,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	△308,977	△194,836
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	470,000	△270,000
長期借入れによる収入	1,561,000	1,008,000
長期借入金の返済による支出	△961,005	△944,552
リース債務の返済による支出	△122,756	△113,421
非支配株主への配当金の支払額	△8,926	△11,174
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	23,545
その他	△230	△150
財務活動によるキャッシュ・フロー	938,081	△307,753
現金及び現金同等物に係る換算差額	△401	△503
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	175,745	△154,267
現金及び現金同等物の期首残高	1,397,896	1,415,375
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,573,641	1,261,107

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,995,238	10,037,205	10,555,577	22,588,021	1,126,137	23,714,158
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,075	86,296	817,801	917,173	219,927	1,137,100
計	2,008,313	10,123,501	11,373,378	23,505,194	1,346,065	24,851,259
セグメント利益又は損失 (△)	△ 36,577	254,100	733,431	950,954	143,298	1,094,252

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	950,954
「その他」の区分の利益	143,298
セグメント間取引消去	6,381
全社費用(注)	△513,980
四半期連結損益計算書の営業利益	586,654

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,061,802	9,633,668	10,005,456	21,700,926	1,354,506	23,055,433
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,943	99,988	795,054	897,985	173,101	1,071,087
計	2,064,745	9,733,656	10,800,510	22,598,912	1,527,608	24,126,521
セグメント利益又は損失 (△)	△16,528	223,414	800,109	1,006,996	106,617	1,113,613

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,006,996
「その他」の区分の利益	106,617
セグメント間取引消去	△5,413
全社費用(注)	△534,482
四半期連結損益計算書の営業利益	573,717

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。